

## 1. 対面

「情報数学」(2年次)
General Reading Oral English

「情報数学」(2年次)

担当教員	中西 通雄
対象	経営学部経営学科 2,3,4
受講者数	12名(最後まで12名がついてきた)

授業の概要	主に iPad を用いて、板書の代わりに用いている。また、iPad で書いたものは、PDF にして WebClass 上に開示した。 秋学期の前半はすべて対面形式で授業を行った。12月になりコロナ感染状況がひどくなってきてからは、対面授業を同時配信するとともに、その録画も提供して復習もできるようにした。
ツール	✓ WebClass □ Webex ✓ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE ✓ その他 (講義録画を収録した回には、Microsoft Stream にその講義録画を置いた。Microsoft Stream 上で動画のトリミングがしやすいので便利であるが、LTI には対応していないのが残念 (ひょっとすると WebClass でも対応させる方法があるのかもしれないが。))
ある   コマの授業プラン	そもそもオンライン授業に限らず、だいたいどの授業回でも、前回の振り返り(宿題のフィードバックを含む)をして、今日の内容を講義・演習している。
工夫した点	理解度確認クイズ(小テスト) 授業 3 回に 1 回程度、理解度確認クイズ(小テスト)を実施した。秋学期前半は紙ベースで実施し、解答紙をスキャンして WebClass にアップした。後半はすべて WebClass 上で実施した。
今後の改善点	対面講義をリアルタイムで配信し、かつ、オンデマンド受講にも配慮するのは、教員一人では限界がある。例えば、もし黒板を使いたいとしても、黒板の適切なところにカメラを向けてアップにする人がいない。定点カメラにするとしても、そのセッティングはたいへんである。できれば教室に天吊りにカメラを設置して常時黒板を映せるようにしていただき(黒板の横幅が広いときはカメラ 2 台が必要である)、その画像を PC 画面の画像と混合配置するような装置(例えば ATEM mini Pro など)を教卓に常備してもらえば、随分と楽になるはずである

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ
Zoom に関してはいろいろな使い方をしていきますので、質問していただければお役にたてることもあるかと思います。

## General Reading

### Oral English

担当教員	松岡 真由子
対象	基盤教育機構外国言語科目 1,2,3,4
受講者数	各クラス約 30 名程度

授業の概要	テキストの英文読解を経て基本的なリーディングスキルを伸ばす、テキスト内で描かれるビジネスシーンで使用される英語の表現を用いてコミュニケーションを行う
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他()
ある   コマの授業プラン	<p>○導入 単語テスト</p> <p>○講義 テキスト音声のリスニング、テキスト読解、ライティング問題など</p> <p>○ディスカッション テキストの内容に沿ったテーマについて、小集団でディスカッション</p> <p>○まとめ ディスカッション時に挙げられた意見の集約、テキスト内容のまとめ、次回の連絡(テストや提出物など)</p>
工夫した点	対面授業の形態を活かし、グループ活動を取り入れている。
今後の改善点	提出するファイルの容量が大きいため、WebClass を通じての提出ができない学生が多かった。 Giga ファイル便を使って容量を圧縮して提出をするよう指示をしたが、今後は YouTube 上に動画をアップしリンクを共有するなど、簡易的な方法を模索したい。

#### これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

春学期は完全オンラインで授業を行っていました。

学生のアンケートからも、オンデマンドで行うよりも、学生の満足度ははるかに高いことを感じました。

対面でできることもたくさんありますが、オンラインでしかできないこともあります。

その利点を生かした授業を学生も望んでいますし、学生との密なるコミュニケーションを日々行うことで、対面やそれ以上の魅力的な授業を展開することができると思います。